

平成 26 年度国立市総合防災訓練実施概要

実施日時 平成 26 年 8 月 31 日（日） 午前 8 時 45 分から

訓練会場 谷保第三公園

スケジュール

午前 8 時 45 分	防災行政無線を使用したサイレン吹鳴により訓練開始 市民の避難開始
午前 9 時頃	市民が谷保第三公園に参集見込み 谷保第三公園内で市民の体験型訓練開始
午前 10 時 15 分	救出救助及び救護活動のデモンストレーション開始。
午前 10 時 35 分	立川消防署及び国立市消防団による一斉放水開始。
午前 10 時 40 分	整列・講評
午前 11 時頃	訓練終了

目的 多くの市民に体験型訓練に参加してもらい、防災意識の向上や個人・地域での災害対策を行うきっかけとしてもらう。また、個人として行うべき対策についての知識を持ってもらう。
市と関係機関との災害時における連携を強化する。

訓練会場図 資料 2 - 2 のとおり

訓練概要

炊き出し訓練

自主防災組織、女性防火の会によるアルファ米の炊き出しを行う。
出来上がったアルファ米は訓練参加者へ配布する。

給水車の展示

陸上自衛隊による給水タンク車の展示を行う。
実際に水を積載し、蛇口から水を出せるようにする。

初期消火訓練

訓練用消火器を使用して、消火器の取扱い方法を習得する。

煙体験

火災を想定し、煙が充満した中を避難する体験を行う。

着せ替え・写真コーナー

消防団の消防ポンプ車とともに写真撮影を実施し、消防団を P R する。
子ども用防火衣も用意する。

はしご車体験

25 組 50 名を限度に高所からの救助に使用するはしご車の体験搭乗を

行う。

包帯法

日赤の指導により、三角巾を使用した包帯法を習得する。

A E D 操作方法

応急手当普及員の資格を持つ女性消防団員の指導により、A E Dの操作方法及び心肺蘇生法を習得する。

給水訓練・消火訓練

主に自主防災組織の訓練として、スタンドパイプを使用した応急給水栓の設置及び消火訓練を実施する。

投てき消火訓練

訓練用投てき水パックを使用し、実際の炎に向かって水パックを投げ消火訓練を行う。水パックの作成も市民に体験してもらう。

救助訓練

自主防災組織、国立市消防団、国立市建設業協会により倒壊家屋を想定した災害現場からの救助訓練を行う。

災害現場、災害対策本部及び救護所の間において市職員がそれぞれの状況や指示を無線を使用してやりとりする通信訓練を行う。

また、負傷者を搬送し、救護所にて国立市医師会、国立市歯科医師会、国立市薬剤師会及び市職員が協力して負傷者の手当てを行う。

展示コーナー

防災関連団体による展示を行う。

出展予定団体：立川消防署、立川警察署、N T T、東京ガス

参加予定団体

立川消防署、立川警察署、国立市消防団、自主防災組織、陸上自衛隊、国立市建設業協会、国立市医師会、国立市歯科医師会、国立市薬剤師会、日赤、女性防火の会、災害ボランティア、東京ガス、N T T 等

周辺警備等

立川警察署警備課により会場周辺の警備を実施する。

市職員が広報車により市内（特に訓練会場周辺）を巡回し、防犯の呼びかけ及びパトロールを行う。

訓練の周知

市報 8 月 2 0 日号に記事を掲載する。

チラシを小中学校及び自治会等で配布する。

市ホームページに訓練概要を掲載する。

くにたちメール配信、twitter にて訓練日時や概要を広報する。

協定に基づき、ジェイコム多摩の放送画面にテロップを流す。

その他

平成 25 年度まで総合防災訓練として実施してきた小中学校での訓練は、地域の共助力の向上及び避難所運営能力の向上を目的としていたが、平成 26 年度は総合防災訓練とは別日程で実施する。